

動物用医薬品

2022 年 11 月改訂（第 3 版）

貯法 遮光、冷所保存、密封容器

承認指令書番号

22 動薬第 4941 号

販売開始

2012 年 7 月

高単位ビタミンD₃ 水性注射剤

ビタフル[®]D₃-S

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、水性化した脂溶性のビタミンD₃を高単位に含有する注射液で、特に牛の乳熱や、産後起立不能の発症予防に効果を現します。また、水性化しているため、投与がしやすく、速やかな吸収が期待できます。

【成分及び分量】

本品 1 mL中

有効成分	含量
コレカルシフェロール	1,000,000 I.U.

【効能又は効果】

牛:乳熱、産前産後起立不能の予防

ビタミンD欠乏症の治療

豚:ビタミンD欠乏症の治療

【用法及び用量】

1)牛の乳熱、産前産後起立不能症の予防には、分娩前8～2日の間に1回、1頭あたり1000万I.U.(本剤として10mL)を筋肉内又は皮下に注射する。

2)ビタミンD欠乏症の治療には、下記用量を筋肉内又は皮下に注射する。必要に応じて7～10日間隔で反復投与する。

牛:体重に応じて1頭あたり50万～300万I.U.[本剤として0.5～3mL]

豚:1頭あたり100万I.U.[本剤として1mL]

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛、豚:筋注後7日間 皮下注後2日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤は直射日光、高温を避け冷所に保管すること。

- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

- ・使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。

- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛及び豚に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①副作用

- ・本剤の注射により、まれにアナフィラキシー様反応を起こすという報告があるので、反応が起こったときは投与を中止し、適切な処置をとること。

②過量投与

- ・ビタミンDは、過量投与による中毒症(骨の脱カルシウムと軟組織化骨)が殆ど全ての動物種で報告されている。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

- ・コレカルシフェロール(ビタミンD₃)は腸からのカルシウムやリンの吸収並びに腎尿細管におけるCa²⁺の再吸収を促進し、血清カルシウム量を一定に保つ。また、骨へのカルシウム沈着を促し骨組織の硬化作用を高める。

【包装】

10 mL × 10バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL: 03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。